

# 宮城県の復興まちづくりについて

## ～東日本大震災から10年の取組み～

宮城県土木部 都市計画課



# 東日本大震災の概要

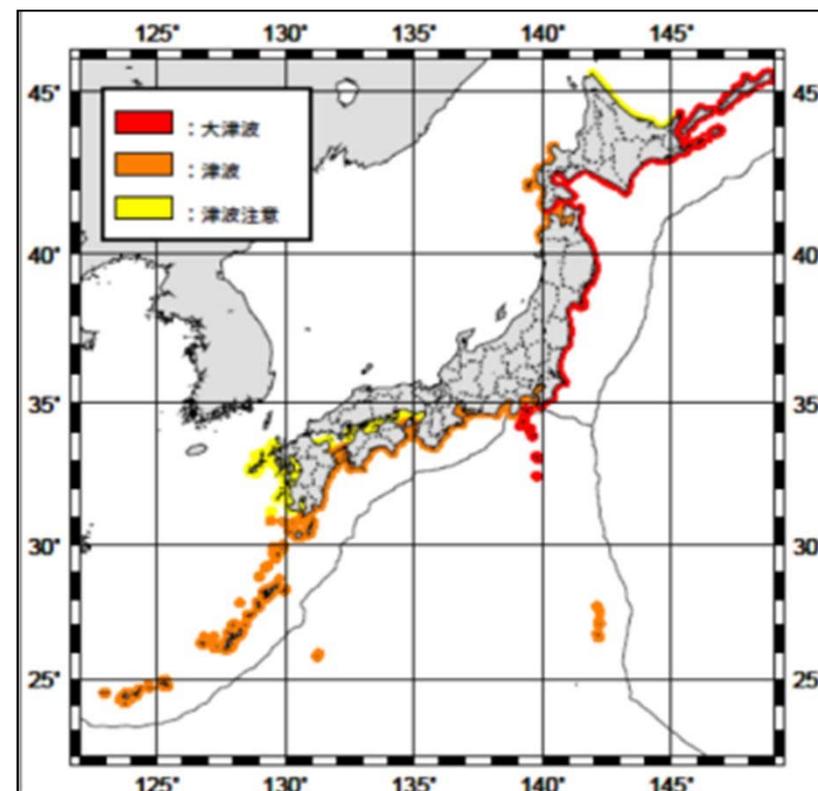
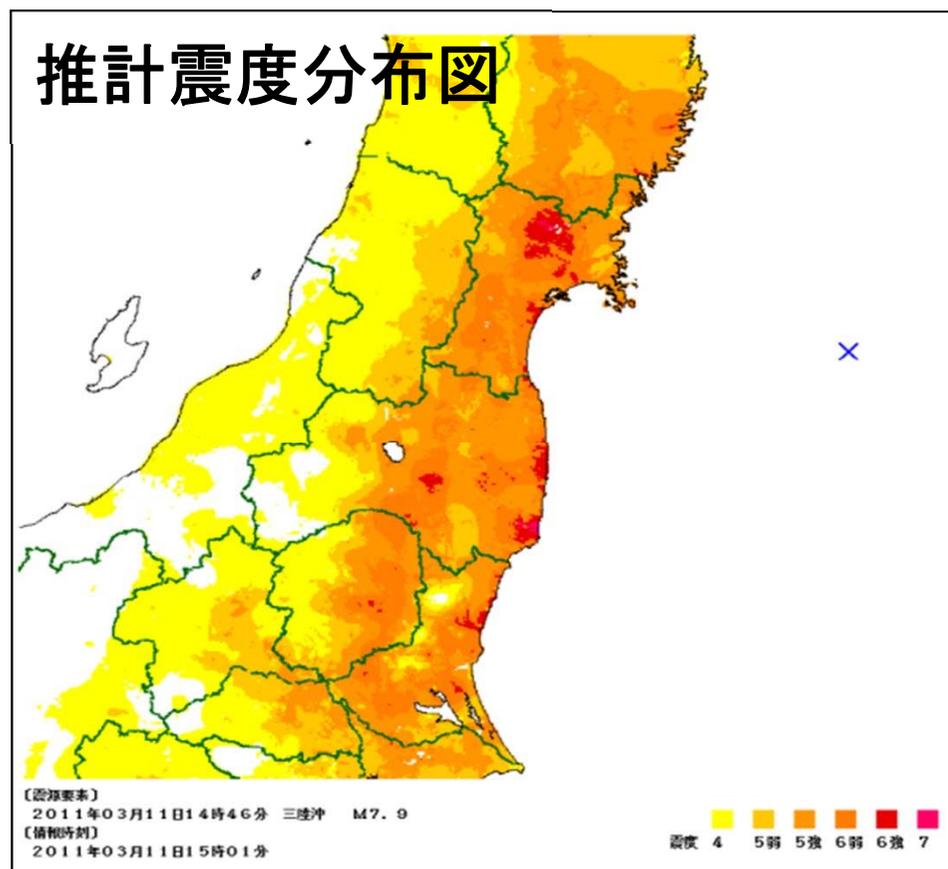
発生時刻 2011年3月11日14時46分

震源 三陸沖(牡鹿半島の東南東 約130km付近),深さ約24 k m

宮城県栗原市で**最大震度7**

宮城県,福島県,茨城県,栃木県の広い範囲で震度6強の強い揺れを観測

地震発生直後の3月11日14時49分に『津波警報<大津波>』が岩手県,宮城県,福島県に発表  
(地震発生後3分後)



平成23年3月11日付け 気象庁発表資料より

# 津波被災の概況



気仙沼市 気仙沼合同庁舎前



気仙沼市 気仙沼合同庁舎前

津波高さ ・ ・ ・ **石巻市鮎川で7.7m以上，仙台港で7.2m以上**  
(推計値，2011年4月5日付け気象庁発表資料より)



石巻市内

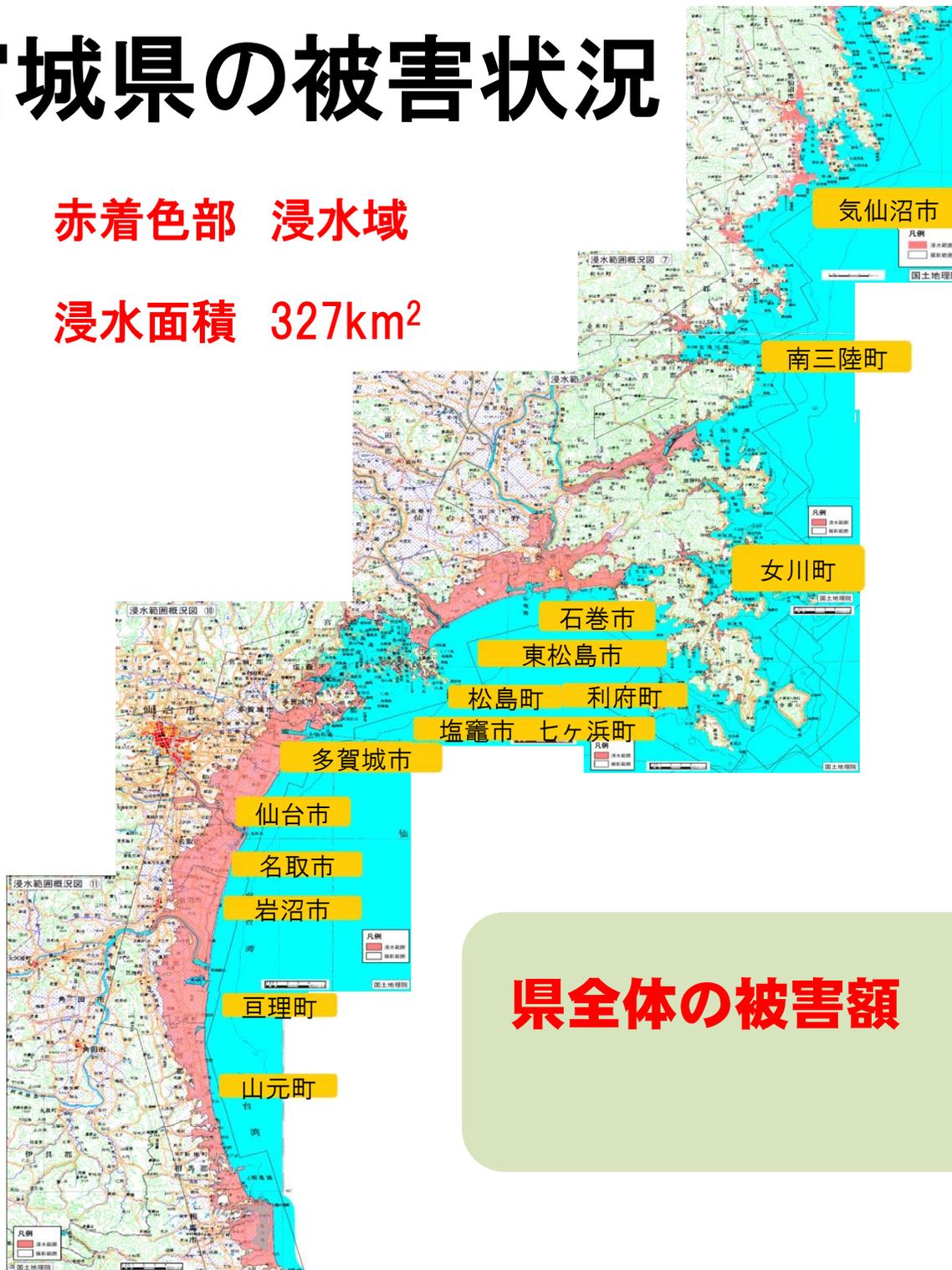


亘理町

# 宮城県の被害状況

赤着色部 浸水域

浸水面積 327km<sup>2</sup>



震災に伴う県内の人的被害

死者 10,567 人

(関連死含む)

行方不明者 1,217 人

建物(住家)被害

全壊 83,005 棟

半壊 155,130 棟

(令和3年2月28日現在:「宮城県資料」)

県全体の被害額

約9兆969億円

うち、公共土木・交通基盤施設分約1兆1,181億円

(令和3年2月28日現在:「宮城県資料」)

# 復興まちづくりの基本方針

## 宮城県震災復興計画

2011年10月に策定。計画期間はおおむね10年間。

2020年度を復興の目標に定め、その計画期間を「復旧期」、「再生期」、「発展期」の3期に区分する。

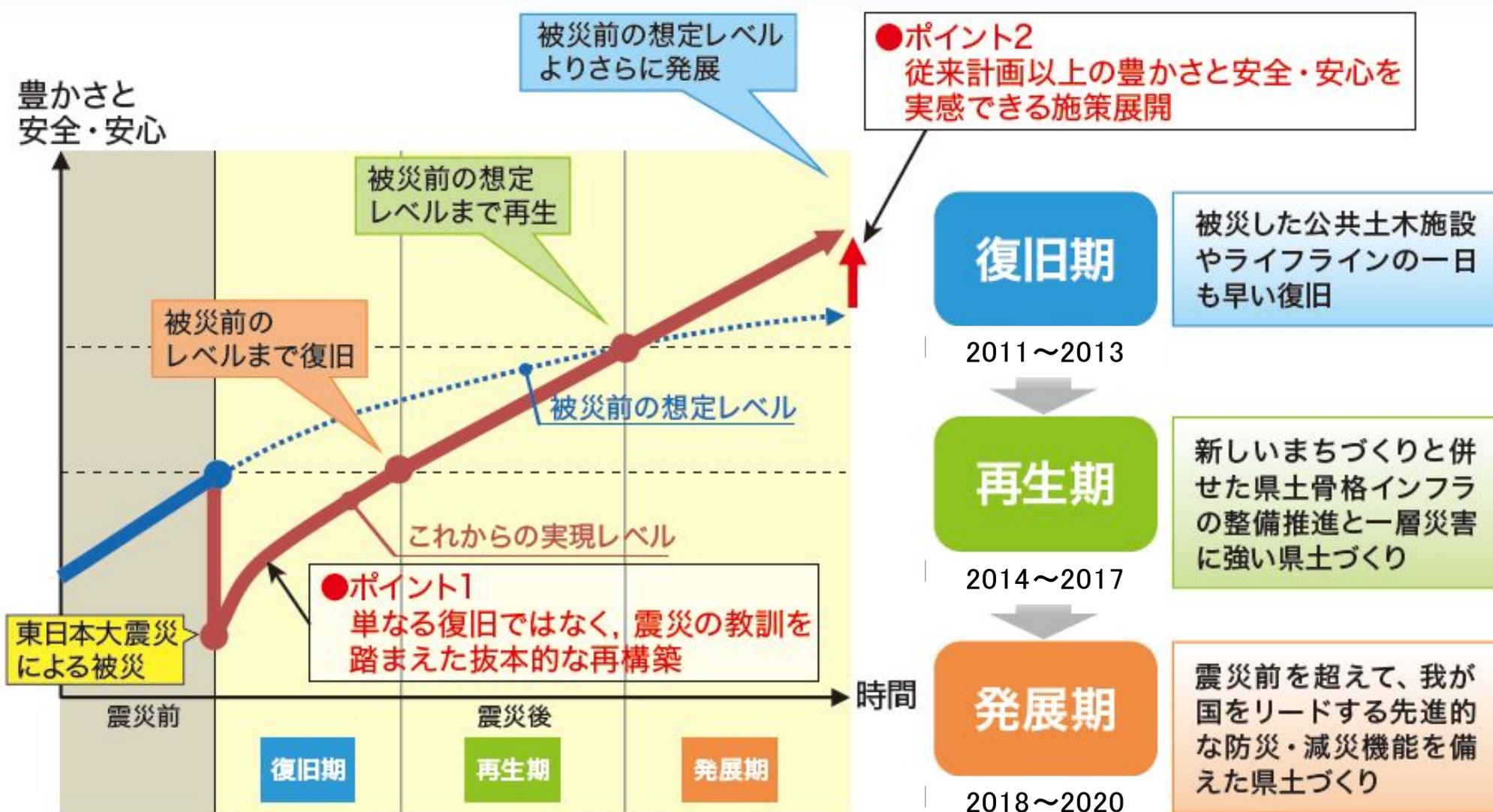
特に、復旧期の段階から、再生期・発展期に実を結ぶための復興の「種」をまき、ふるさと宮城の復興に結びつける。



### 宮城県震災復興計画の10のポイント

- 1 . 災害に強いまちづくり宮城モデルの構築
- 2 . 水産県みやぎの復興
- 3 . 先進的な農林業の構築
- 4 . ものづくり産業の早期復興による「富県宮城の実現」
- 5 . 多様な魅力を持つみやぎの観光の再生
- 6 . 地域を包括する保健・医療の再構築
- 7 . 再生可能なエネルギーを活用したエコタウンの形成
- 8 . 災害に強い県土・国土づくりの推進
- 9 . 未来を担う人材の育成
- 10 . 復興を支える財源・制度・連携体制の構築

# 「災害に強いまちづくり宮城モデル」イメージ



1

## 安心安全なまちづくり

- 新しい津波防災の考え方
- 地形特性や被災教訓を踏まえた「新しいまちづくり」
- 住まいの早期復旧

2

## 災害に強い「道路」・「港湾」・「空港」

- ラダー型防災道路ネットワークの構築
- 物流・交流基盤の強化

3

## 早期復旧と復興の加速化に向けた取組

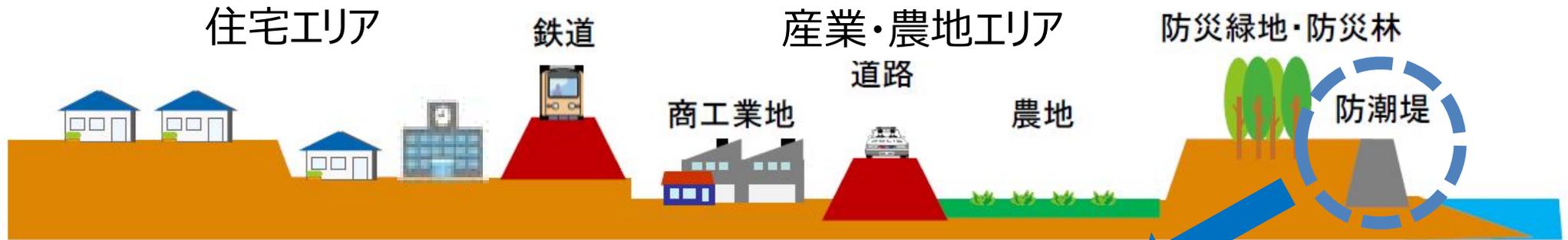
- 早期の用地取得対策
- 受注環境改善と施工確保対策

4

## 震災教訓の伝承

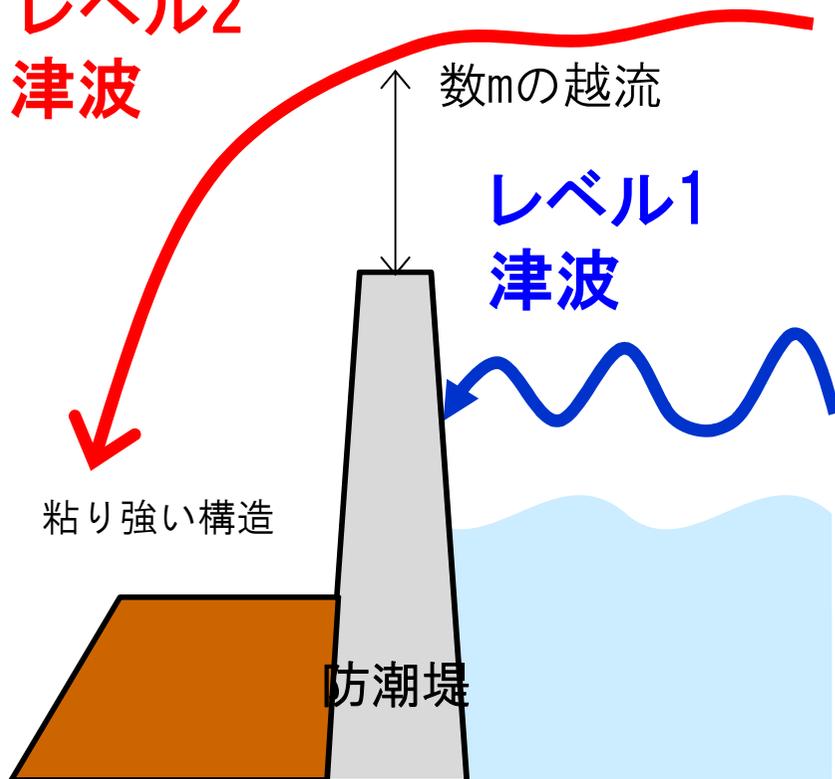
- 3. 11 伝承・減災プロジェクト

# 新しい津波防災の考え方



## 設計津波高さの考え方

レベル2  
津波



	レベル1(L1)津波	レベル2(L2)津波
想定	数十年から百数十年の頻度で発生すると考えられる津波	津波防護レベルをはるかに上回り、 <u>構造物対策の適用限界を超過する津波</u>
防護目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>人命保護, 日常生活機能維持</li> <li>財産保護</li> <li>経済活動の継続</li> <li>発災直後に必要な沿岸部機能の維持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人命保護</li> <li>経済的損失の軽減</li> <li>二次災害の防止</li> <li>早期復旧</li> </ul>
対象津波	明治三陸(1896) チリ津波(1960)等	貞観津波(869) 今次津波(2011)等

# 実際の建物被災状況（リアス部）

リアス部は入り江形状になっており、海岸部から内陸部奥まで全域にわたり家屋が流出

被災前



被災後



津波の勢力が**大きく**、浸水深が浅くても建物の流出事例が確認されている → 住居地域は高台移転を基本とする。

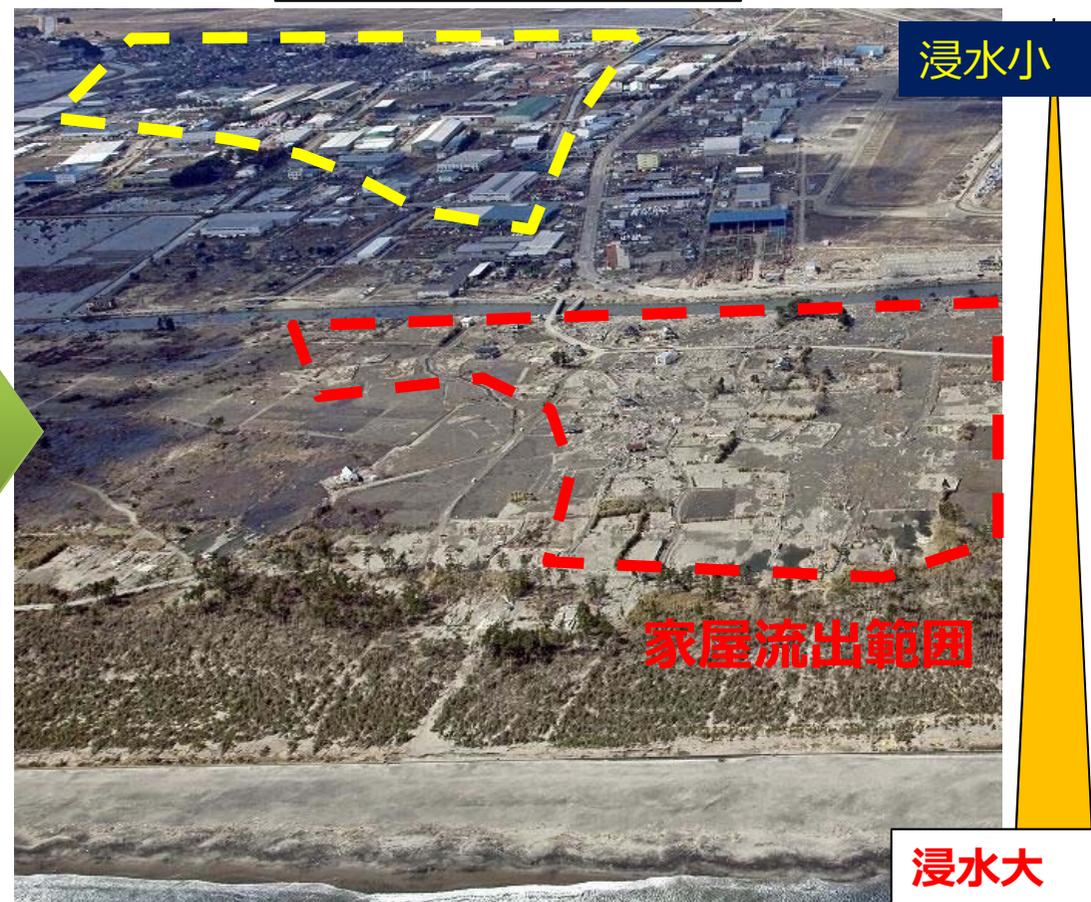
# 実際の建物被災状況（仙台湾南部）

海岸部の家屋は、全て流出（浸水深6m程度以上）赤部分  
内陸部の家屋は、ほぼ残存（浸水深2m程度以下）黄部分

被災前

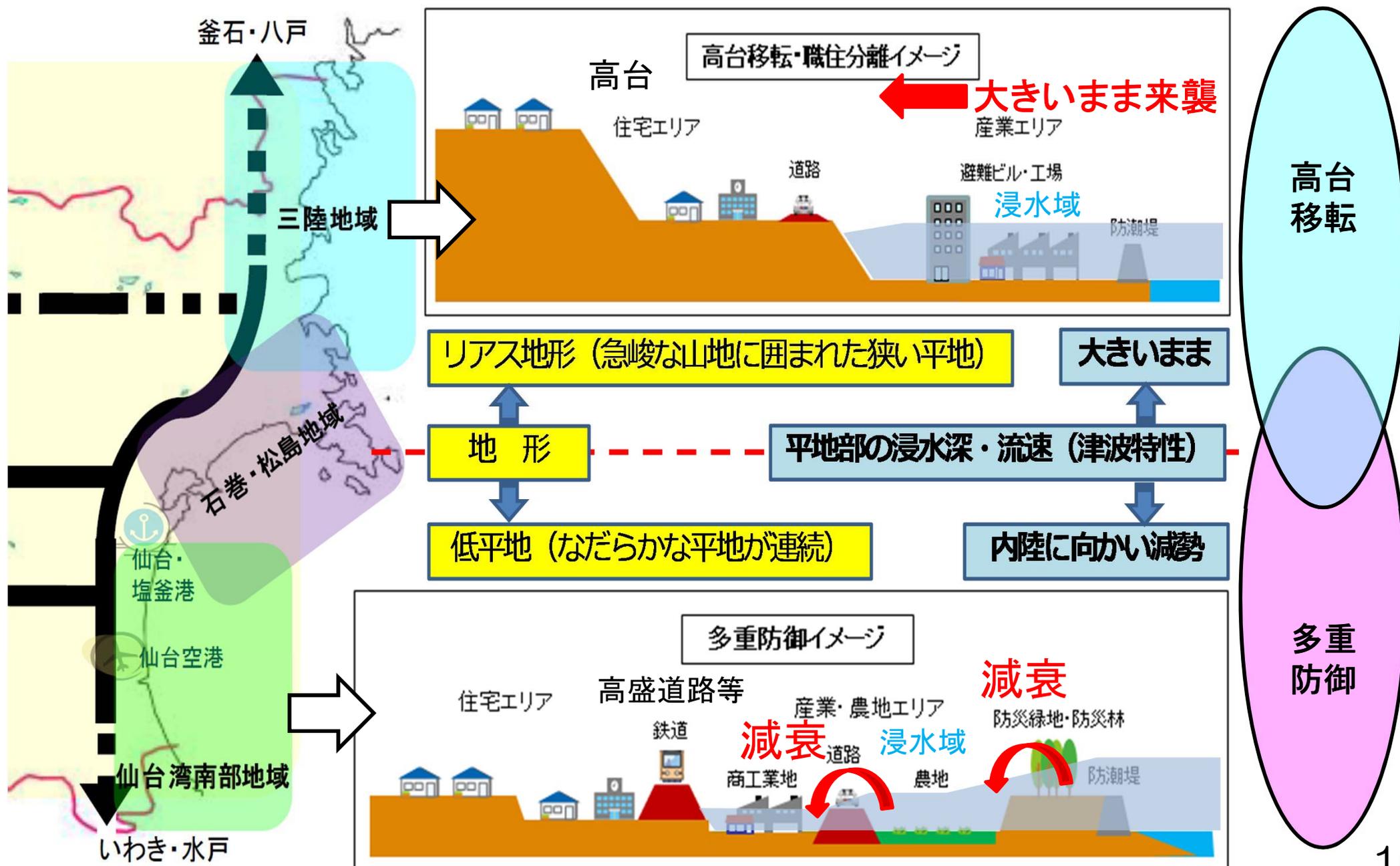


被災後



浸水深が**2.0m以下**となる地域を住居地域の候補地として検討  
→**内陸移転または現位置嵩上げ**

# 地域特性や被災教訓を踏まえた「新しいまちづくり」



# 各市町における復興まちづくり計画

## 【凡例】

上段：市町名

中断：平地の活用（見通しがあるもののみ）

下段：再建タイプ

※松島町，利府町は，災害公営住宅の建設

### 石巻市

街路整備，商業地や産業用地(区画整理)  
現位置再建 + 多重防御，  
内陸移転，高台移転

### 気仙沼市

街路整備，産業用地  
(地盤高上げ)  
現位置再建，高台移転

### 東松島市

産業用地，農業用地  
高台移転，内陸移転 + 多重防御

### 南三陸町

国道の再整備，避難路の整備，  
商業地や産業用地(区画整理)  
高台移転 (津波拠点)

### 仙台市

産業用地(区画整理)  
内陸移転 (防集団地) + 多重防御

### 女川町

国道の再整備，避難路の整備，  
商業地や産業用地(区画整理)  
高台移転

### 名取市

住宅，商業及び産業用地(区画整理)  
内陸移転 (防集団地)，現位置再建 + 多重防御

### 塩竈市

避難防災施設の整備等 (津波拠点)  
高台移転，現位置再建

### 岩沼市

防災公園の整備(千年希望の丘)  
内陸移転 (防集団地) + 多重防御

### 七ヶ浜町

防災緑地や避難路の整備及び公園用地  
高台移転，現位置再建

### 亘理町

ほ場整備により農地大区画化，非農用地集約  
内陸移転 (防集団地) + 多重防御

### 多賀城市

産業用地(津波復興拠点)  
現位置再建

### 山元町

ほ場整備により農地大区画化，非農用地集約  
内陸移転 (津波拠点) + 多重防御

※三陸地域等の離半島部集落は，概ね高台移転

# 各事業のイメージ

**防**災集団移転促進事業



被災市街地復興土地**区**画整理事業



津波復興**拠**点整備事業



災害公営**住**宅整備事業

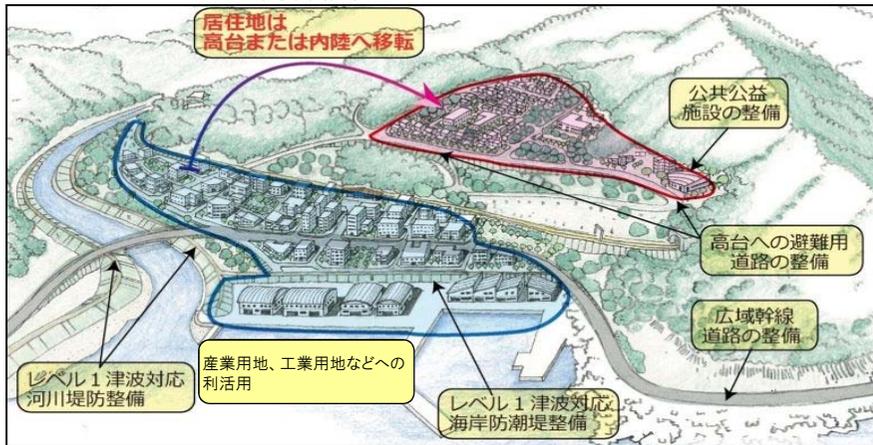


## 防災集団移転促進事業

令和2年11月末現在 12市町  
住宅等建築可能地区数 100%(195/195地区)

東日本大震災により被災した地域において、住民の生命等を災害から保護するため、住民の居住に適当でないと認められる区域内の住居の集団的移転を促進する事業。

高台移転のイメージ



(例) 南三陸町志津川地区(平成30年7月撮影)



多重防御のイメージ



(例) 岩沼市玉浦西地区(平成27年7月 完了後撮影)



(例) 仙台市若林区井土地区(令和元年5月 撮影)

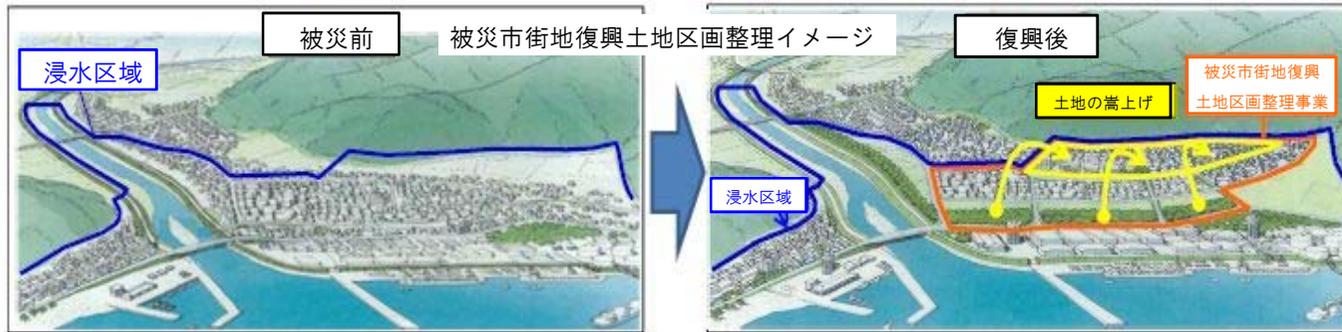


## 被災市街地復興土地区画整理事業

令和2年11月末現在 11市町  
住宅等建築可能地区数 100%(35/35地区)

広範かつ甚大な被災を受けた市街地の復興に対応するため、それぞれの地域の復興ニーズに的確に対応し、緊急かつ健全な市街地の復興を推進するために行う土地区画整理事業。

(例) 名取市閑上地区(平成30年4月撮影)



## 津波復興拠点整備事業

令和2年11月末現在 8市町  
住宅等建築可能地区数 100%(12/12地区)

住宅、公益施設、業務施設等の機能を集約させた津波に対して安全な市街地を緊急に整備するため、用地買収方式にて復興の拠点となる市街地を整備する事業。

(例) 山元町新山下駅周辺地区(平成30年7月 完了後撮影)

(例) 気仙沼市赤岩港地区(平成30年7月撮影)



# 各事業の進捗状況（復興まちづくり関連）

<令和2年11月末現在>

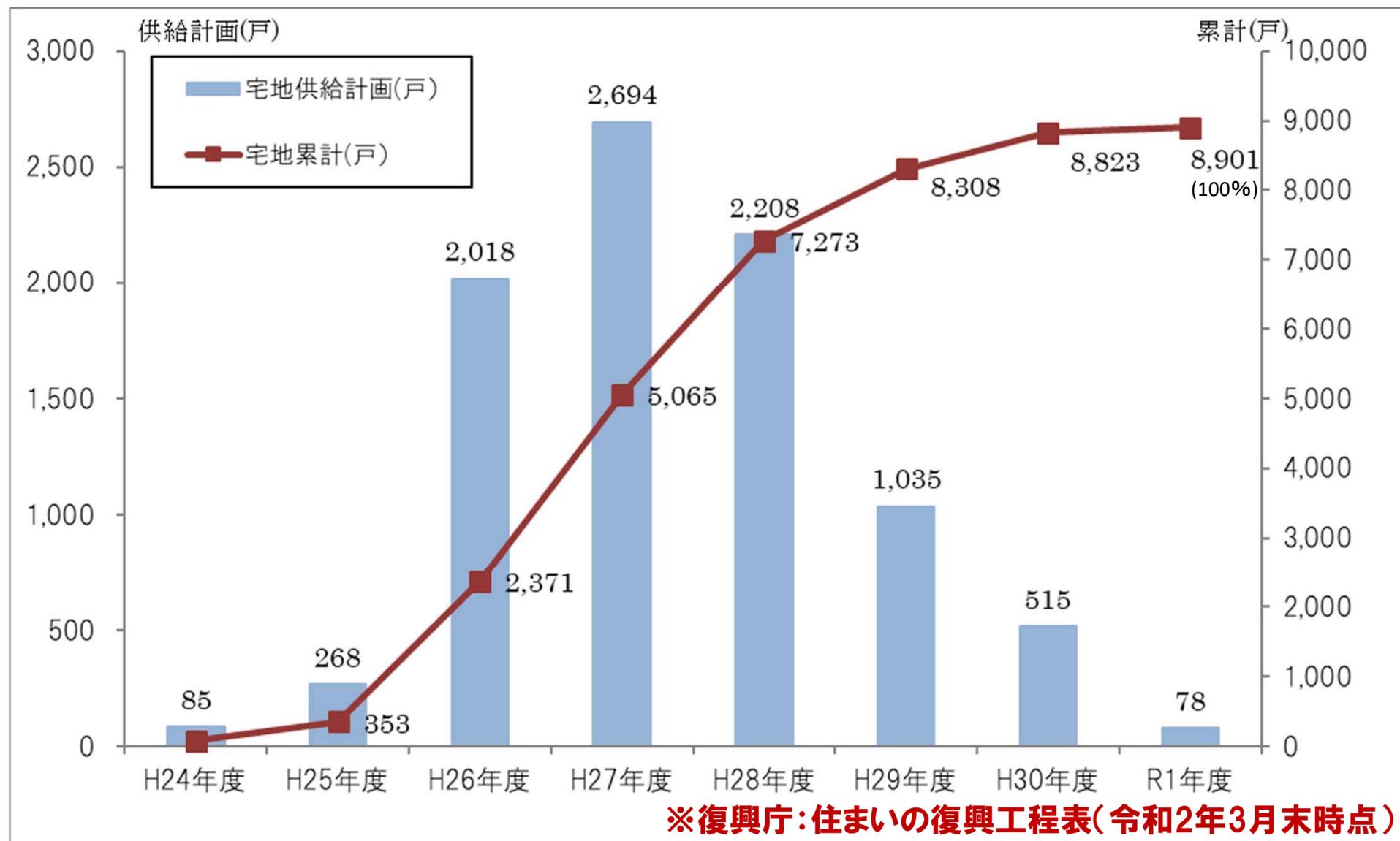
市町名	防災集団移転促進事業			土地区画整理事業				津波復興拠点事業			
	計画 地区数	造成工事着手等		計画 地区数	事業認可			計画 地区数	事業認可		
住宅等 建築工事 着手		住宅等 建築工事 可能	工事着工		住宅等 建築工事 可能	工事着工	住宅等 建築工事 可能				
仙台市	14	14	14	1	1	1	1				
石巻市	56	56	56	15	15	15	15	1	1	1	1
塩竈市	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1
気仙沼市	51	51	51	4	4	4	4	2	2	2	2
名取市	2	2	2	2	2	2	2				
多賀城市				1	1	1	1	1	1	1	1
岩沼市	2	2	2	1	1	1	1				
東松島市	7	7	7	3	3	3	3	2	2	2	2
亘理町	5	5	5								
山元町	3	3	3					2	2	2	2
七ヶ浜町	5	5	5	4	4	4	4				
女川町	22	22	22	1	※1	※1	※1	1	1	1	1
南三陸町	26	26	26	1	1	1	1	2	2	2	2
<b>合計</b>	<b>195</b>	<b>195</b>	<b>195</b>	<b>35</b>	<b>35</b>	<b>35</b>	<b>35</b>	<b>12</b>	<b>12</b>	<b>12</b>	<b>12</b>
(進捗率)		(100%)	(100%)		(100%)	(100%)	(100%)		(100%)	(100%)	(100%)

※1 女川町は事業認可を4箇所取得しているが、1地区として計上

# 市町整備の宅地供給計画【全体】

令和2年3月末現在，全体 8,901戸全ての宅地供給が完了した。

※復興庁:東日本大震災被災者向け災害公営住宅及び民間住宅等用宅地の供給状況(令和2年3月末時点)



# 災害公営住宅 整備状況

## ■災害公営住宅 進捗【平成31年3月末】

21市町 312地区において  
整備計画戸数 **15,823戸** 全戸完成



名取市関上地区



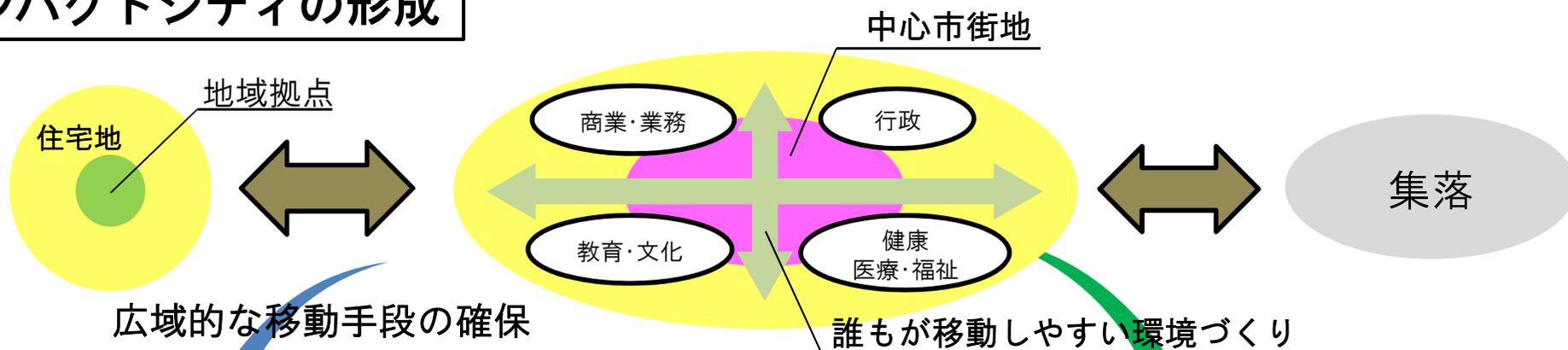
女川町荒立住宅

# 持続可能なまちづくりに向けた取組

- 震災により拍車がかかった**人口流出,高齡化**
- 高台へ移転した離半島部の暮らしやすさ確保
- 働く場の減少,労働力不足,雇用のミスマッチ

住まいの早期整備  
生活利便施設の確保・地域内交通の検討  
なりわいの拠点整備など  
【課題例】買物場所, 病院への交通手段  
【対応例】移動販売, デマンドバス  
**県・市町で連携した取組が必要**

## コンパクトシティの形成



**地域拠点**  
効率的で持続可能な移動手段の確保

コミュニティバス・デマンド交通等の検討  
カーシェアリング等

### 中心市街地

誰もが移動しやすいコンパクトシティ



# 災害に強い「道路」・「港湾」・「空港」

## 地域経済の発展に寄与する 復興道路 三陸沿岸道路の整備 インフラ整備

### 復興支援道路 みやぎ県北高速幹線道路の整備

- 平成23年11月24日, I 期区間 L = 7.0 km 供用開始
- 平成30年12月25日, II 期区間 L = 4.7 km 供用開始
- 令和元年6月9日, IV 期区間 L = 1.7 km 供用開始
- III 期区間 事業中

### 仙台空港民営化

- 平成27年12月1日, 国土交通省と仙台国際空港(株)と仙台空港特定運営事業等に係る公共施設等運営権実施契約の締結
- 平成28年7月, 民営化
- 令和3年2月, 運用時間24時間化



### 常磐自動車道の全線開通

- 平成27年3月1日, 常磐富岡IC～浪江IC間が開通し, 常磐自動車道が全線開通
- 仙台～東京間でのダブルネットワークが形成
- 拠点都市間のアクセス向上 (仙台市～浪江町間 21分短縮)
- 令和3年3月6日 山元IC～亘理IC 4車線化



- 東日本大震災からのリーディングプロジェクトである「三陸沿岸道路」について宮城県内の部分が完成
- 平成30年3月25日 大谷海岸IC～気仙沼中央IC 7.1km開通
- 平成31年2月16日 歌津IC～小泉海岸IC 10.0km開通
- 本吉津谷IC～大谷海岸IC 4.0km開通
- 平成31年3月21日 唐桑小原木IC～陸前高田長部IC 3.5km開通
- 令和2年2月24日 気仙沼中央IC～気仙沼港IC 1.7km開通
- 令和2年11月21日 小泉海岸IC～本吉津谷IC 2.0km開通
- 令和3年3月6日 気仙沼港IC～唐桑半島IC 7.3km開通



- 大島架橋 (平成31年4月供用開始)



### JR仙石線及び石巻線全線運転再開



- 平成27年5月30日, 東名駅及び野蒜駅の高台移転が完了し, JR仙石線が全線運転再開した。
- 平成27年3月21日, JR石巻線が全線運転再開し, 併せて「おながわ復興まちびらき」が開催された。

### 国際拠点港湾 仙台塩釜港



- 岸壁等の復旧事業は完了し, 完成自動車等貨物の混雑解消及び船舶の大型化に対応する物流ターミナルを整備
- 新規外航コンテナ航路が相次いで開設し, 航路数は8航路となり過去最高を記録

# 復興交付金実施計画道路事業の進捗状況

<令和3年3月>

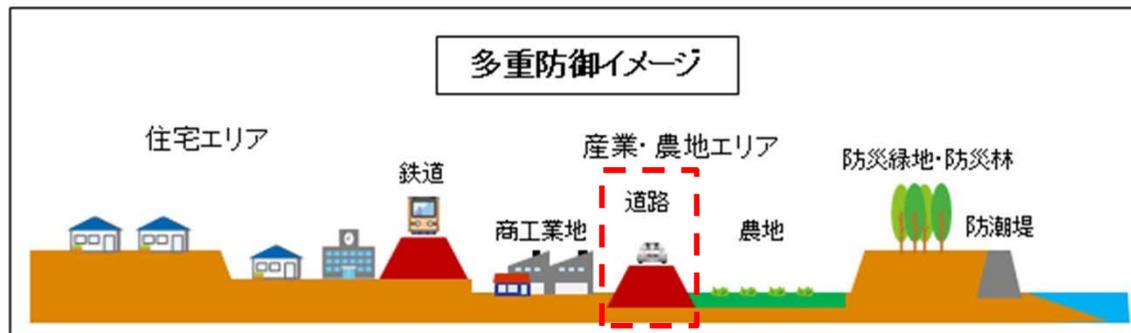
市町村	復興交付金実施計画						
	道路事業			内 街路事業			
	事業実施 箇所数	完了 箇所数	完了率 (箇所)	事業実施 箇所数	完了 箇所数	完了率 (箇所)	進捗率 (事業費)
気仙沼市	44	32	73%	7	3	43%	77%
南三陸町	23	23	100%				
女川町	13	12	92%				
石巻市	48	41	85%	6	5	83%	83%
東松島市	12	10	83%	1	1	100%	100%
塩竈市	8	7	88%	3	2	67%	85%
七ヶ浜町	6	6	100%				
多賀城市	3	3	100%	2	2	100%	100%
仙台市	4	4	100%				
名取市	14	14	100%				
岩沼市	3	3	100%				
亘理町	8	8	100%				
山元町	7	6	86%				
<b>合計</b>	<b>193</b>	<b>169</b>	<b>88%</b>	<b>19</b>	<b>13</b>	<b>68%</b>	<b>85%</b>

# 復興まちづくりと一体となった道路整備 1

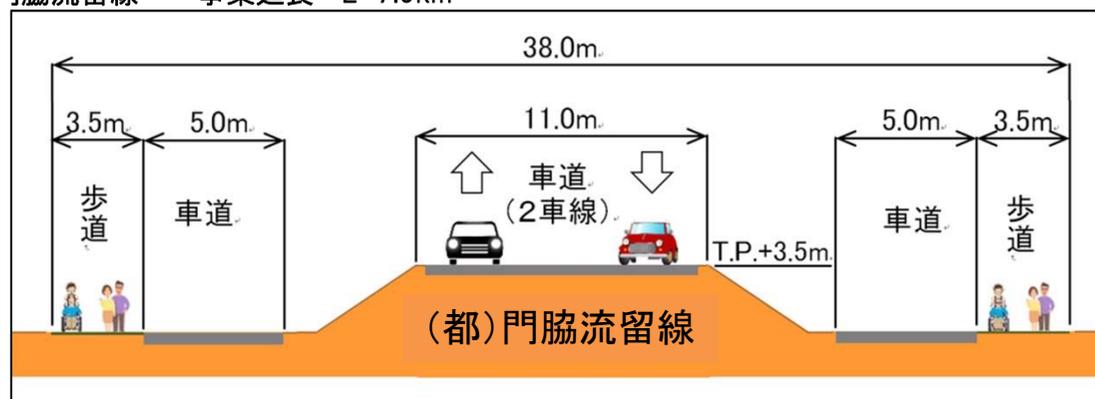
## 高盛土道路（多重防御施設）

想定を超える大津波への対応策として、第一線で津波を防護する防潮堤整備と併せて、防潮堤と並行する道路を盛土構造にすることで、多重防御で防災・減災機能を強化する道路整備を行った。

### 石巻市沿岸部の例



門脇流留線 事業延長 L=7.9km



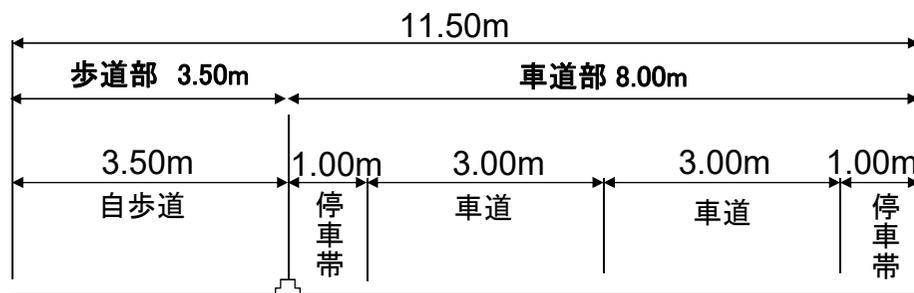
# 復興まちづくりと一体となった道路整備 2

## 津波避難路

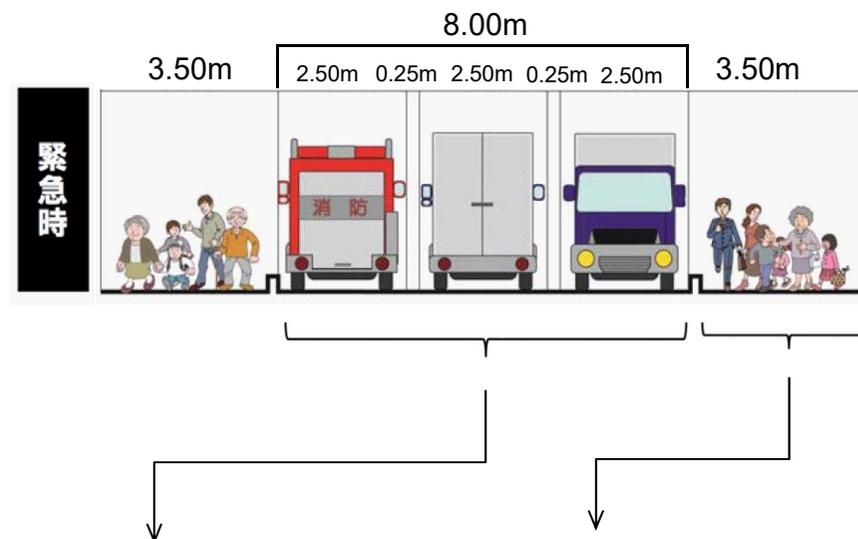
津波避難路については、路肩に緊急車両や避難者乗捨車両が停車する場合でも、緊急車両や避難車両等のすれ違いが可能な幅員を確保することや、一度に多くの歩行者や自転車の通行を可能とする幅員を確保することなどが重要である。



### 山下停車場線の例



## 津波避難路の幅員構成例



### 車道部幅員

路肩に緊急車両や避難者乗捨車両が停車する場合でも、緊急車両や避難車両等のすれ違いが可能な幅員を確保するため、津波避難路の車道幅員を8.0m以上とする。

### 歩道(自転車・歩行者道)幅員

一度に多くの歩行者や自転車の通行を確保するため、路上施設0.5m等を加えた3.5m以上とする。

# 復興まちづくりと一体となった道路整備3

**市街地相互の接続** 復興の拠点となる市街地を接続する道路や、孤立集落の解消、まちづくりと一体となった高台への避難路整備等を行った。

**(都) 矢本門脇線 (街路事業)**



**国道398号 (石巻バイパス) (道路事業)**



**大島浪板線 (大島架橋事業)**



**国道398号 (南三陸町) (道路事業)**



- 復興まちづくりに関する宮城県都市計画審議会の開催状況
- 「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」、「区域区分」の変更に係る都市計画決定状況
- 復興まちづくりに係る都市計画道路の決定状況

# 復興まちづくりに関する宮城県都市計画審議会の開催状況

年度	審議会	市町村	議案名	種類
H23	第157回	名取市	仙塩広域都市計画土地区画整理事業の決定について	土地区画整理
	第157回	名取市	仙塩広域都市計画道路の変更について	道路
	第157回	女川町	石巻広域都市計画土地区画整理事業の決定について	土地区画整理
	第157回	女川町	石巻広域都市計画道路の変更について	道路
	第157回	女川町	石巻広域都市計画公園の変更について	公園
H24	第158回	多賀城市	仙塩広域都市計画事業多賀城駅周辺土地区画整理事業の事業計画変更に対する意見書について	土地区画整理
	第159回	女川町	石巻広域都市計画道路の変更について	道路
	第159回	気仙沼市	気仙沼都市計画道路の変更について	道路
	第159回	南三陸町	志津川都市計画道路の変更について	道路
	第161回	石巻市 東松島市	石巻広域都市計画道路の変更について	道路
	第162回	女川町	石巻広域都市計画事業女川町被災市街地復興土地区画整理事業の事業計画に対する意見書について	意見書
	第163回	山元町	山元都市計画都市高速鉄道の決定について	都市高速鉄道
	第163回	亘理町	亘理都市計画都市高速鉄道の決定について	都市高速鉄道
H25	第165回	石巻市	石巻広域都市計画道路の変更について	道路
	第166回	女川町	石巻広域都市計画道路の変更について	道路
	第166回	大崎市	大崎広域都市計画道路の変更について	道路
	第166回	多賀城市 七ヶ浜町	仙塩広域都市計画緑地の変更について	緑地

# 復興まちづくりに関する宮城県都市計画審議会の開催状況

年度	審議会	市町村	議案名	種類
H25	第166回	多賀城市 七ヶ浜町	仙塩広域都市計画下水道の変更について	下水道
	第166回	名取市	仙塩広域都市計画事業名取市閑上地区被災市街地復興 土地区画整理事業の事業計画に対する意見書について	意見書
	第167回	名取市	仙塩広域都市計画事業名取市閑上地区被災市街地復興 土地区画整理事業の事業計画に対する意見書について	意見書
	第167回	石巻市	石巻広域都市計画事業石巻市下釜第一地区被災市街地 復興土地区画整理事業の事業計画に対する意見書について	意見書
	第168回	名取市	仙塩広域都市計画事業名取市閑上地区被災市街地復興 土地区画整理事業の事業計画に対する意見書について	意見書
	第169回	七ヶ浜町	仙塩広域都市計画事業菖蒲田浜地区被災市街地復興土 地区画整理事業の事業計画に対する意見書について	意見書
	第169回	七ヶ浜町	仙塩広域都市計画事業花刈浜地区、代ヶ崎浜A地区及び 代ヶ崎浜B地区被災市街地復興土地区画整理事業の事業 計画に対する意見書について	意見書
	第170回	石巻市	石巻広域都市計画道路の変更について	道路
	第170回	気仙沼市	気仙沼都市計画道路の変更について	道路
	第170回	南三陸町	志津川都市計画道路の変更について	道路
	第170回	仙台市	仙塩広域都市計画事業仙台市蒲生北部地区被災市街地 復興土地区画整理事業の事業計画に対する意見書について	意見書
第171回	多賀城市	仙塩広域都市計画道路の変更について	道路	

# 復興まちづくりに関する宮城県都市計画審議会の開催状況

年度	審議会	市町村	議案名	種類
H26	第172回	七ヶ浜町	仙塩広域都市計画事業菖蒲田浜地区被災市街地復興土地 地区画整理事業計画変更に対する意見書について	意見書
	第174回	石巻市 東松島市	石巻広域都市計画道路の変更について	道路
	第175回	東松島市	石巻広域都市計画緑地の変更について	緑地
	第176回	名取市	仙塩広域都市計画道路の変更について	道路
	第176回	岩沼市	仙塩広域都市計画緑地の変更について	緑地
	第176回	岩沼市	仙塩広域都市計画、仙南広域都市計画及び亘理都市計画 下水道の変更について	下水道
H27	第177回	七ヶ浜町	仙塩広域都市計画事業花刈浜地区被災市街地復興土地 地区画整理事業の事業計画変更に対する意見書について	意見書
	第177回	仙台市	仙塩広域都市計画事業仙台市蒲生北部被災市街地復興 土地地区画整理事業の事業計画変更に対する意見書について	意見書
	第178回	南三陸町	志津川都市計画道路の変更について	道路
	第178回	多賀城市	仙塩広域都市計画下水道の変更について	下水道
	第178回	南三陸町	志津川都市計画事業志津川地区被災市街地復興土地 地区画整理事業の事業計画変更に対する意見書について	意見書
	第179回	塩竈市	仙塩広域都市計画道路の変更について	道路
	第180回	石巻市 東松島市	石巻広域都市計画区域の整備，開発及び保全の方針の変 更について	整開保
	第180回	石巻市 女川町	石巻広域都市計画区域区分の変更について	区域区分

# 復興まちづくりに関する宮城県都市計画審議会の開催状況

年度	審議会	市町村	議案名	種類
H28	第181回	東松島市	石巻広域都市計画緑地の変更について	緑地
	第182回	石巻市	石巻広域都市計画道路の変更について	道路
	第182回	石巻市	石巻広域都市計画公園の変更について	公園
	第183回	名取市	仙塩広域都市計画事業名取市閑上地区被災市街地復興土地地区画整理事業の事業計画変更に対する意見書について	意見書
	第184回	南三陸町	志津川都市計画区域の整備開発および保全の方針について	整開保
	第184回	亘理町	亘理都市計画区域の整備開発および保全の方針について	整開保
	第184回	山元町	山元都市計画区域の整備開発および保全の方針について	整開保
H29	第185回	女川町	石巻広域都市計画道路の変更について	道路
	第186回	気仙沼市	気仙沼都市計画区域の整備，開発および保全の方針について	整開保
	第188回	石巻市	石巻広域都市計画道路の変更について	道路
	第190回	仙台市， 塩竈市， 松島町	仙塩広域都市計画区域の変更について	都市計画 区域
	第190回	仙台市ほか 10市町村	仙塩広域都市計画区域の整備，開発及び保全の方針の変更 について	整開保
	第190回	塩竈市ほか4 市村	仙塩広域都市計画区域区分の変更について	区域区分

# 復興まちづくりに関する宮城県都市計画審議会の開催状況

年度	審議会	市町村	議案名	種類
H30	第192回	岩沼市ほか 3市町	仙塩広域都市計画区域区分の変更について	区域区分
	第192回	石巻市ほか 2市町	石巻広域都市計画区域の整備，開発及び保全の方針 の変更について	整開保
	第192回	東松島市， 女川町	石巻広域都市計画区域区分の変更について	区域区分
R1	第196回	石巻市	石巻広域都市計画区域の変更について	都市計画区域
R2	第197回	石巻市	石巻広域都市計画公園の変更について	公園

## ■ 復興まちづくりに関する宮城県都市計画審議会の開催件数

33回開催（今回の審議会を含む）

## ■ 審議案件の種類毎の件数

都市計画区域	整開保	区域区分	道路	都市高速鉄道	公園	緑地	下水道	土地区画整理	意見書	合計
2	7	4	20	2	3	4	3	2	14	61

※「整開保」：都市計画区域の整備，開発及び保全の方針

# 区域区分の変更に係る都市計画決定状況

## ■ 平成28年5月告示

### 第180回宮城県都市計画審議会付議（平成28年3月25日）

市町	地区名	面積ha	土地利用	事業
石巻市	新蛇田	91.4	住居・業務系	土地区画整理事業
	あけぼの北	5.5	住居系	土地区画整理事業
	新渡波	29.4	住居系	土地区画整理事業
	須江	21.1	工業系	一団地の津波防災拠点市街地形成施設事業
女川町	中心部	44.5	住居系	土地区画整理事業
	陸上競技場跡地	2.5	住居系	土地区画整理事業
	宮ヶ崎	16.2	住居系	土地区画整理事業
	旭が丘	1.0	住居系	防災集団移転促進事業

## ■ 平成30年5月告示

### 第190回宮城県都市計画審議会付議（平成30年3月20日）

市町	地区名	面積ha	土地利用	事業
多賀城市	八幡	17.2	工業系	一団地の津波防災拠点市街地形成施設事業
岩沼市	玉浦西	20.0	住居系	防災集団移転促進事業
※仙台市	田子西隣接	10.5	住居系	防災集団移転促進事業
				※仙台市決定案件

# 区域区分の変更に係る都市計画決定状況

## ■ 令和元年5月告示

### 第192回宮城県都市計画審議会付議（平成31年3月18日）

市町	地区名	面積ha	土地利用	事業
岩沼市	矢野目西	20.0	工業系	土地区画整理事業
東松島市	あおい	23.6	住居系	土地区画整理事業
	牛網	4.8	住居系	防災集団移転促進事業
	野蒜ヶ丘	38.3	住居系	土地区画整理事業
	小松谷地	13.2	住居・商業系	開発行為
女川町	清水	0.1	住居系	土地区画整理事業
	小乗	1.9	住居系	土地区画整理事業

## ■ 令和3年5月告示予定

### 第199回宮城県都市計画審議会付議（本日）

市町	地区名	面積ha	土地利用	事業
名取市	閑上	18.9	住居・商業系	土地区画整理事業
名取市	美田園北	6.5	住居系	防災集団移転促進事業

	地区数	面積ha
合計	20	386.6

# 復興まちづくりに係る都市計画道路の決定状況

## ■ 決定・廃止・変更した路線数（平成23年～令和3年3月）

番号	市町村名	県決定			市町村決定			計		
		決定	廃止	変更	決定	廃止	変更	決定	廃止	変更
1	気仙沼市	0	3	3	2	1	15	2	4	18
2	南三陸町	1	2	5	0	4	0	1	6	5
3	女川町	2	5	3	3	3	4	5	8	7
4	石巻市	0	2	16	3	2	20	3	4	36
5	東松島市	1	0	1	4	0	6	5	0	7
6	松島町	0	0	0	0	0	1	0	0	1
7	多賀城市	0	0	1	1	0	0	1	0	1
8	仙台市	0	0	0	0	0	1	0	0	1
9	名取市	0	0	4	0	5	1	0	5	5
10	亘理町	0	0	0	0	0	4	0	0	4
小計		4	12	33	13	15	52	17	27	85
合計		49			80			129		

# 世界に羽ばたく 水産業のまちを 目指して

災害公営  
住宅  
整備事業

被災市街地復興土地区画整理事業



新しいまちづくり計画では、防潮堤を建設するとともに、盛土したところに工業・商業エリアと住宅エリアを分離させ配置することで、安全で快適な暮らしを送れるよう計画しています。

南気仙沼地区  
令和2年3月



津波により火災発生



完成した駅前地区災害公営住宅  
平成29年5月



鹿折地区一区画整理事業、竣工式  
令和元年9月

【従前の町並み】  
気仙沼港周辺に市街地部が集中していた南気仙沼地区では工場・商業・住宅等が混在していました。

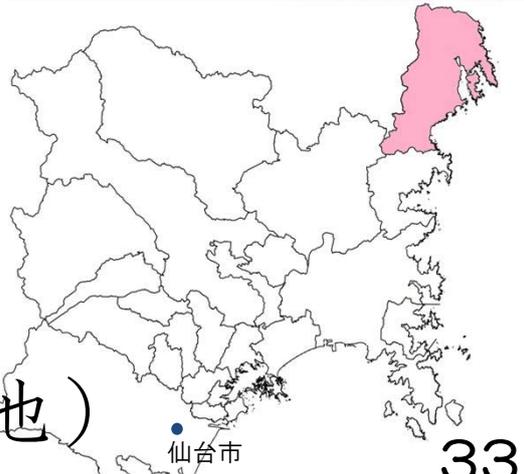


提供：一般社団法人東北地域づくり協会 平成19年7月



生鮮カツオの水揚げ量は、23年連続日本一となっています。

カツオ水揚げの様子



# 気仙沼市 (市街地)

仙台市

# 安心して

移転先の  
高台居住地

# 暮らし続けられる まちづくり

移転先の  
高台居住地

元の中心市街地は  
なりわいの場として再生します。

三陸地方は地震による津波が周期的に襲ってくる地域であるといえます。明治以降の100年余りの間に、明治三陸津波、昭和三陸津波、チリ地震津波など多数の死者や家屋の損壊が出るなど大きな被害を受けてきました。

南三陸町は、今回の被災の経験を活かし、どのような災害に遭遇しても命が守られ、安全で安心して暮らし続けることができる町、集落及び地域社会を創造的に復興させます。

災害公営  
住宅  
整備事業

防 災  
集 団 移 転  
促 進 事 業

被災市街地復興土地区画整理事業



志津川地区  
令和2年3月

提供：アジア航測（株）



志津川地区  
被災前の様子  
平成13年5月



志津川地区  
被災直後の様子  
平成23年3月  
提供：一般社団法人東北地域づくり協会

志津川中心部の南三陸町防災対策庁舎。  
3階建ての建物の屋上を2mも越える  
津波が押し寄せました。  
現在は、県が震災遺構として20年間  
(2031年まで)維持管理し、町が  
周辺を復興記念公園として整備するこ  
ととしています。

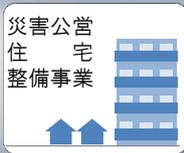
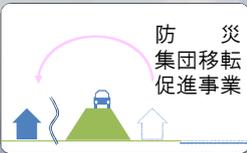
津波浸水高さ  
庁舎の高さ1.2m

H=2m↑



仙台市

# 南三陸町



市街地の安全の確保を第一に、多重防御による防災に強いまちづくりを目指します。また、被災地最大規模となる蛇田地区を代表に産業系合わせ15地区の区画整理事業により、市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻します。

令和2年3月  
提供：アジア航測（株）

# 活気のある新たなまちづくり



旧北上川の河口部では河川堤防と一体となったまちづくりが行われています。



写真提供：石巻市

新蛇田地区  
平成30年9月



被災直後の門脇地区  
平成23年3月

# 石巻市(市街地)



仙台市



# 100年先を 見据えたまちづくり

「住み残る」「住み戻る」「住み来る」、「選択されるまち」女川へ。高台に移転しても、都市機能が集約されたコンパクトシティを目指す。

## ■中心部のコンセプト

どこからでも海が見える  
住みたい、訪れたい、自慢したい風景の創出  
安全・安心・暮らしやすいまちづくり

中心部 令和2年3月



ハマテラスオープン  
平成28年12月

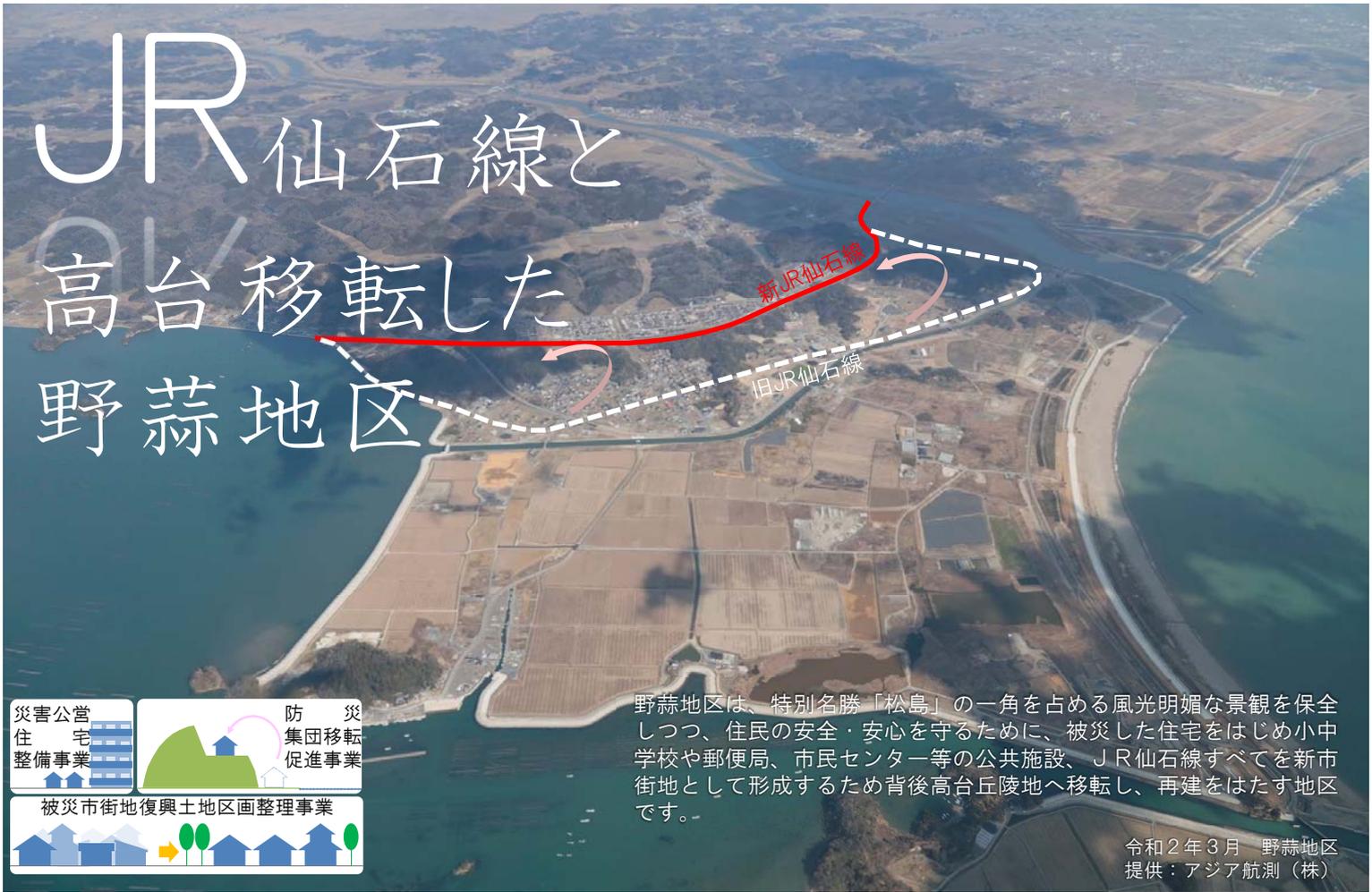


提供：一般社団法人東北地域づくり協会 震災後（平成24年3月）



提供：一般社団法人東北地域づくり協会 震災前（平成18年8月）

# JR 仙石線と 高台移転した 野蒜地区



災害公営住宅整備事業

被災市街地復興土地区画整理事業

防 災 集 団 移 転 促 進 事 業

野蒜地区は、特別名勝「松島」の一角を占める風光明媚な景観を保全しつつ、住民の安全・安心を守るために、被災した住宅をはじめ小中学校や郵便局、市民センター等の公共施設、JR仙石線すべてを新市街地として形成するため背後高台丘陵地へ移転し、再建をはたす地区です。

令和2年3月 野蒜地区  
提供：アジア航測（株）



災害公営住宅整備事業

防 災 集 団 移 転 促 進 事 業

野蒜地区では宅地の引渡が全地区完了し、新たな生活がスタートしています。平成29年8月までに災害公営住宅も完成しました。



あの日を忘れず ともに未来へ  
～東松島一心～

# 東松島市



# 塩竈市



仙台市●



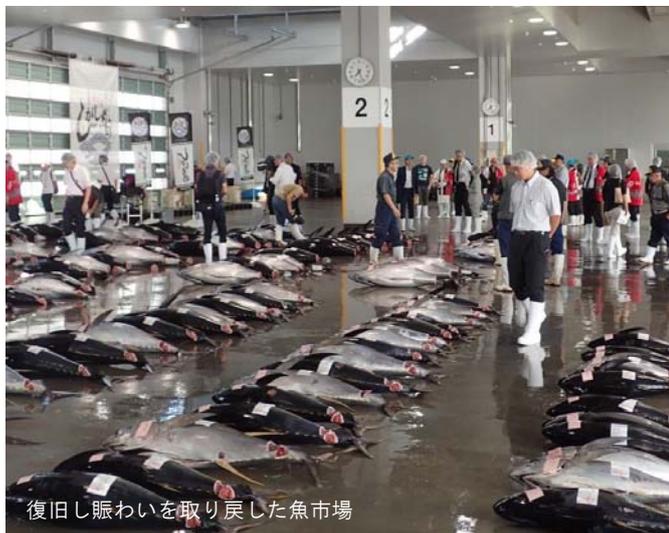
津波避難デッキが完成した  
港町地区



災害公営住宅用地や  
産業用地を整備する北浜地区



災害公営  
住宅  
整備事業  
被災市街地復興土地区画整理事業



復旧し賑わいを取り戻した魚市場



多くの海水浴客が訪れ、賑わいを取り戻した桂島海水浴場  
平成27年7月



津波に飲み込まれる魚市場の状況

# 復活

みなとまちの



塩竈市は、古くから天然の良港に恵まれ、漁港や港湾を活用し「みなとまち」として大きく発展してきました。しかし、発展の礎を担ってきた基幹産業である水産業や水産加工業をはじめ、港湾関連産業、商工業、観光業などは今回の震災によって大きな被害を受けており、その立て直しが急務となっています。地域に活力を取り戻すためにも、これらの市内産業の再生・復興を促進し、地域経済の活性化を図ります。



菫蒲田浜中田地区

吉田浜台地区

菫蒲田浜地区

花洲浜地区

「地域のきずな」を重視し、既存の地区内に高台移転団地や災害公営住宅を整備しています。

七ヶ浜町の豊かな自然環境の恩恵を十分に享受しつつ、復興まちづくり事業の推進による地域コミュニティの活性化やにぎわいの創出など、未来志向のまちづくりを推進し、「うみ・ひと・まち七ヶ浜」の再構築と再生に取り組みます。



自然と人が  
調和した  
住みやすい  
まちづくり

菫蒲田浜  
平成30年10月



笹山地区家並みワークショップの様子  
新しいまちづくりについて活発な意見交換が行われました。  
平成26年10月



海を見おろす美しい町並みに  
着々と住宅が建築されています  
笹山地区  
平成28年2月

# 七ヶ浜町



仙台市



菫蒲田海水浴場が平成29年4月に7年ぶりに本格再開しました。

菫蒲田海水浴場  
平成28年7月

# 現位置再建での復旧 そして復興へ

災害公営  
住宅  
整備事業

多賀城市では、被災者の居住意向や企業の再建意向と本市の立地環境を踏まえ、原則、現地での再建を基本としています。



都市型津波被害

建物が林立し、海が見えない工業地帯や住宅地を襲った津波

1階に駐車場や倉庫を配し、居住スペースを2階以上で計画。各棟をデッキでつなぎ、東日本大震災に伴う大津波と同クラスの津波にも対応できる施設となっています。



災害公営  
住宅  
整備事業

桜木地区



仙台市

# 多賀城市

東日本大震災による津波と同規模の津波が襲来しても浸水しないように造成し、製造業の復旧、復興を支えるとともに、災害時の防災拠点機能を備えた市街地整備を行っています。



八幡地区  
平成29年7月